

令和3年度 学校評価アンケート【学年末】まとめ

生徒の回答

保護者の回答

教師の回答

設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度	設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度	設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度
学校生活・生活指導	1 学校での生活は楽しい。	93.0%	93.9%	88.4%	89.8%	学校生活・生活指導	1 子供は、楽しく学校生活を送っている	93.7%	92.7%	90.3%	90.3%	学校生活・生活指導	1 生徒は楽しく学校生活をすごしている	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	94.7%	96.4%	95.4%	94.7%		2 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている	92.1%	91.9%	91.4%	90.0%		2 生徒は学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている	100.0%	100.0%	96.2%	96.2%
	3 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	94.0%	95.4%	93.7%	86.6%		3 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている	89.7%	88.8%	86.9%	86.4%		3 生徒は場に応じて、聞こえる挨拶をしている	86.7%	93.4%	80.8%	69.2%
	4 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	92.9%	92.9%	90.5%	85.2%		4 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	84.5%	87.8%	85.8%	81.0%		4 生徒は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	86.7%	90.0%	92.3%	80.8%
	5 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	96.8%	98.2%	97.5%	95.4%		5 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	96.0%	96.8%	97.5%	97.8%		5 生徒は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	6 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	87.4%	88.3%	83.9%	84.2%		6 学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている	90.1%	87.7%	83.5%	82.4%		6 生徒同士のトラブルや悩みなどを生徒が相談する時間を設定している	96.7%	86.7%	73.1%	84.6%
	7 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	83.2%	85.4%	82.6%	77.5%		7 子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	92.5%	88.8%	87.9%	81.7%		7 生徒は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	100.0%	100.0%	92.3%	73.1%
	8 提出物を忘れずに出している。	77.5%	84.3%	79.7%	74.3%		8 子供は、提出物を忘れずに出している	75.8%	76.5%	73.1%	71.3%		8 生徒は、忘れず提出物をだしている	66.7%	76.7%	76.9%	53.8%
学力・学習指導	9 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。	76.8%	66.4%	68.6%	68.3%	学力・学習指導	9 子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている	73.4%	73.4%	73.4%	68.8%	学力・学習指導	9 生徒は、自分の考えや意見を伝える力など、表現力が育っている	60.0%	63.3%	80.7%	53.8%
	10 授業の内容を理解している。	83.9%	85.3%	78.0%	75.4%		10 子供は、授業の内容を理解している	71.0%	69.1%	62.8%	58.8%		10 生徒は、授業の内容をよく理解している	76.7%	73.4%	84.6%	73.1%
	11 毎日、家庭学習をしている。	81.8%	82.9%	72.0%	70.4%		11 子供は、家庭学習をする習慣が身についている	62.3%	57.7%	46.9%	46.2%		11 生徒は、家庭学習をする習慣が身についている	63.3%	50.0%	65.4%	57.7%
	12 朝読書以外にも読書をしている。	44.6%	43.2%	47.6%	47.9%		12 子供は、家庭でも読書をしている	29.4%	28.7%	30.3%	29.0%		12 生徒は、読書に親しむ習慣が育っている	46.7%	56.6%	46.2%	23.1%
進路指導	13 将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	71.6%	63.9%	68.9%	62.0%	進路指導	13 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている	57.5%	53.0%	52.1%	43.0%	進路指導	13 生徒は、将来の夢や希望の実現に向けて、主体的に進路選択しようとしている	80.0%	63.4%	80.8%	57.7%
	14 自分には良いところがある。	77.2%	77.8%	71.7%	72.9%		14 保護者は子供の良いところを知っている	94.8%	94.3%	98.3%	97.5%		14 自分の良いところ気づかせようとしている	93.3%	90.0%	100.0%	100.0%
道徳教育	15 社会のルールを守って生活している。	93.0%	94.6%	95.1%	91.2%	道徳教育	15 子供は、社会のルールを守る態度が育っている	92.1%	90.9%	92.4%	78.9%	道徳教育	15 生徒は、社会のルールを守る態度が育っている	96.7%	93.3%	92.3%	88.5%
	16 自分が大切な存在であると思っている。	81.8%	76.1%	70.3%	68.0%		16 子供は、自分を大切な存在であると思っている	93.3%	91.9%	88.2%	87.1%		16 生徒は、自分を大切な存在であると思っている	93.1%	83.4%	84.6%	84.6%
	17 「とことん続ける目標」で、自信につながった。	84.9%	82.2%	76.2%	64.8%		17 子供は「とことん続ける目標」で、自信につながっている	79.4%	71.2%	66.2%	57.3%		17 生徒は「とことん続ける目標」で、自信につながっている	100.0%	93.3%	88.5%	80.8%
	18 道徳の時間に積極的に取り組んでいる。	83.2%	82.8%	77.3%	75.7%		18 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている	52.8%	54.1%	50.3%	49.1%		18 道徳の授業内容を通信等で知らせている	66.7%	73.4%	65.4%	100.0%

令和3年度 学校評価アンケート【学年末】まとめ

生徒の回答

保護者の回答

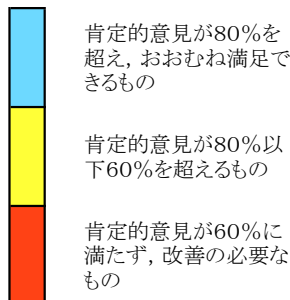
教師の回答

設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度
特別活動 総合学習 部活	19 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。	78.9%	80.4%	75.2%	75.4%
	20 部活動ガイドラインを守り、活動ができている。	79.6%	75.7%	78.6%	81.3%
安全 教育 環境 教育	21 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	92.6%	95.0%	92.0%	89.4%
	22 学校の施設・設備は安全である。	80.0%	84.0%	75.1%	65.5%
	23 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	89.5%	86.0%	85.3%	83.1%
人権 教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	86.3%	87.9%	80.1%	83.1%
	25 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	93.7%	95.7%	92.0%	89.8%
学校 行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	92.6%	92.5%	88.1%	89.8%
学校 公開 情報 公開 地域 家庭 連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	78.5%	80.3%	76.9%	72.5%
	28 地域の行事に参加している。	33.7%	33.2%	34.6%	48.6%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	77.5%	84.3%	82.8%	79.9%
	30 学校からの便りを保護者にわたしている。	84.2%	87.5%	86.7%	79.6%

設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度
特別活動 総合学習 部活	19 子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	79.0%	76.2%	75.5%	69.5%
	20 部活動は、時間を守り、活動ができている	76.2%	81.0%	80.0%	86.0%
安全 教育 環境 教育	21 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている	86.5%	88.7%	85.4%	77.4%
	22 学校の施設・設備は安全である	85.3%	83.1%	82.1%	73.8%
	23 学校は、美しく整えられている	94.8%	92.3%	88.9%	84.9%
人権 教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	91.7%	87.7%	82.4%	79.6%
	25 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている	90.9%	87.4%	83.1%	81.0%
学校 行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している	87.7%	87.0%	90.4%	87.1%
学校 公開 情報 公開 地域 家庭 連携	27 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している	85.3%	82.4%	80.0%	71.3%
	28 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	94.4%	92.9%	91.0%	90.0%
	29 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している	90.1%	93.4%	89.7%	94.3%
	30 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる	90.9%	89.9%	86.6%	86.0%
	31 学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている	96.8%	94.0%	94.8%	86.0%

設問項目		R3年度	R3中間	R2年度	R1年度
特別活動 総合学習 部活	19 生徒は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	96.7%	93.3%	96.2%	84.6%
	20 部活動は時間を守り、運営ができている	96.7%	96.6%	100.0%	100.0%
安全 教育 環境 教育	21 生徒は地震、火災、不審者など、危機に対応する能力が育っている	93.3%	96.7%	84.6%	73.1%
	22 学校の施設・設備は安全である	73.3%	66.7%	46.1%	46.2%
	23 学校を美しく整えている	96.7%	100.0%	100.0%	92.3%
人権 教育	24 子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	25 いじめや差別を素早く見抜き、情報共有し、初期対応と未然防止に努めている	96.7%	100.0%	100.0%	96.2%
学校 行事	26 学校行事や講演会は、教育効果を上げている	96.7%	100.0%	92.3%	100.0%
学校 公開 情報 公開 地域 家庭 連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを伝えている	96.7%	96.7%	88.5%	92.3%
	28 積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	83.3%	93.4%	76.9%	92.3%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している	93.3%	100.0%	88.4%	100.0%
	30 学校の取り組みや様子などを保護者に伝えている	96.7%	93.3%	80.7%	100.0%
	31 学校はホームページ、マチコミメールを利用して、積極的に情報発信している	100.0%	93.3%	88.4%	100.0%
特別 支援	32 ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進している	96.7%	96.7%	84.6%	73.1%
学校 経営	33 教職員間で「報告・連絡・相談」が日常的に行われ、教職員間の共通理解が図られている	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%
	34 教職員間のコンプライアンス、情報セキュリティが徹底されている	96.7%	100.0%	84.6%	92.3%
	35 研修等に積極的に参加するなど、資質向上に努めている	100.0%	96.7%	88.5%	100.0%
資質 向上	36 校務分掌・組織は適切に構成され、機能している	100.0%	100.0%	92.3%	84.6%
	37 教育活動全般において、職員同士が協力して取り組んでいる	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%

※ アンケートの数字は、「そう思う」「ややそう思う」の肯定的意見を合計したものです。



学校評価【年度末】における反省と課題

①生徒の調査について

生徒の中間評価では、設問項目1～7, 10, 11, 15～18, 21～26, 30の質問項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足しているといえる。また、全調査項目のうち、80%以上の項目が、昨年度調査の15項目よりは増加しているが、本年度中間評価で23項目だったが、20項目に減少している。

「学校生活・生活指導」（設問1～8）の分野では、設問項目6「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」は、87.4%と高い数値ではあるが、その数値が90%を超えることと、「ややあてはまる」と回答した30.5%が「よくあてはまる」の56.8%の回答に改善されるように、より生徒に寄り添った助言や指導を進めていきたい。設問項目8「提出物を忘れずに出している」では、中間評価の84.3%、昨年度末の79.7%よりも低い77.55であった。提出物をきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず、提出物の内容やその設定手段についても再考する必要がある。

「学力・学習指導」（設問9～12）の分野では、設問項目9「自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。」は、76.8%と中間調査と比べても10.2%の増加が見られる。NIEへの取り組みや、授業でのタブレット活用に生徒達が意欲的に取り組めた成果と考えられる。一方で、設問項目12「朝読書以外にも読書をしている」は、昨年度の47.6%よりも低下傾向にある。タブレット導入で、紙媒体に触れる機会が減少したことも要因にあると考えられ、今後の課題であるとする。紙媒体とタブレットの両立を進めるための検証に取り組む、改善していきたい。

「道徳教育」（設問15～18）については、すべての項目で80%を超える高い結果となった。特に、最重点目標に挙げた設問項目17の「『とことん続ける目標』で、自信につながるようになった」は、令和2年度調査の76.2%から今年度中間評価は82.2%へと、そして今回の評価では84.9%と右肩上がりの向上が見られる。学年別のデータでは、「よく当てはまる」の回答が1年生(34.7%)、2年生(41.0%)、3年生(56.7%)のように高学年ほど高い値となり、板野中学校2021年度重点行動目標の浸透状況が見えてきた。

「人権教育」（設問24, 25）でも、すべての項目で80%を超える高い結果となっており、最重点目標の一つである「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は86.3%となり、中間調査の87.9%からは若干の減少も見られるが、昨年度の数値から6.2%の向上となった。「よく当てはまる」の回答が53.5%と過半数を越えており、他の設問項目と比べても「よく当てはまる」の回答率が高くなっている。

『明日への扉』での毎日の目標設定と振り返りにしっかりと取り組める生徒達の頑張り、『明日への扉』や『とことん続ける目標』を通じて、生徒と教員、保護者と教員の相互の関係の深まりを実感できる結果となった。今後とも、「自立型人間の育成」に向けてさらに高められるように努力したい。

今後の課題は設問項目8, 9, 12, 13, 14, 19, 20, 27, 28, 29である。しかし設問項目17, 24は引き続き最重点目標とする。「とことん続ける目標」の徹底、明日への扉を使った振り返りへの取り組みを通して、自己肯定感をさらに磨き、それによって学習意欲をさらに増加させるよう取り組んでいく。

また、学校からの情報発信力をさらに向上し、いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に引き続き取り組みたい。

②保護者の調査について

保護者の年度末評価の結果において、全30問の設問項目のうち、（中間調査時には23問）22問が昨年度の回答よりも「よくあてはまる」「ややあてはまる」が増加している。

設問項目1～7の学校生活全般については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超えており、90%以上の回答や、「よくあてはまる」の回答だけで80%を超えるものもあり、大変満足していただいているといえる。また、これらの回答は生徒の回答とも類似している。昨年までのデータと比較しても、若干下がったものが2項目あるが、その他の設問項目では少しずつ向上している。好評価の中でも特に登下校の生徒の評価がよく出ている。特に「子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている」の調査は、「よくあてはまる」だけで、89.3%の回答があり、「全くあてはまらない」の回答は1.6%となっている。しかし、生徒の調査からも確認される課題としては、設問項目8「子供は、提出物を忘れずに出している。」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が75.8%である。生徒達が提出物がきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず忘れずに出せるように提出物の内容とその設定方法について、見直していきたい。

「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている。」の調査では、R1年度68.8%、R2年度73.4%となっていたが、今年度調査でも73.4%となり、保護者の方々の子供に対する評価が全く同じ数値となっている。「よくあてはまる」が26.6%、「ややあてはまる」が46.8%と少しずつ増加しているが、「子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。」において「よくあてはまる」17.1%となっており、生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする情報発信をさらに強化する必要がある。また、「子供は『とことん続ける目標』で、自信につながっている。」の肯定的な意見がR1年度の57.3%からR2年度は66.2%、R3年度中間調査では71.2%、そして今回の年度末調査では79.4%に伸びてきた。保護者に「とことん続ける目標」の取組が少しずつ浸透してきたと言える。この活動は家庭教育と学校教育が一体となって取り組みたいものでもあり、生徒が設定している目標を保護者に知ってもらうとともに、振り返りシートの保護者の記入について協力を依頼することで、学校と家庭が歩調を合わせて生徒の自己肯定感の育成をさらに進めていきたい。

人権教育の設問項目24, 25において、肯定的な意見は前回の中間調査をしのぐ、90%を超えた結果が出ている。講演会等で積極的に保護者の参加も勧めてきた成果だと考える。

保護者への情報発信はいずれの設問項目においても好評価となっている。今年度、保護者が学校を訪問するPTA活動や学校行事などは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策もあり、その機会が増やせていない。設問項目29「学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている。」では、中間調査の93.4%より減少し90.1%となってしまった。反面、「学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。」では、96.8%の好意的な回答が得られた。今後もコロナ禍であるからこそ、きめ細やかな情報発信に努めていきたい。そして、保護者からの意見や情報が、教員に日常的に伝わる情報交換をさらに高めていきたい。